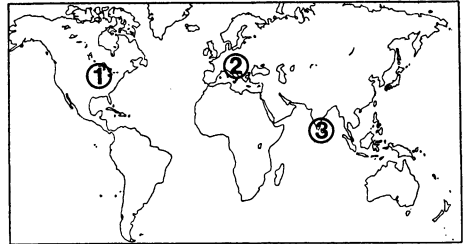


## 世界の異常天候とその影響評価 (2)

(Climate Impact Assessment, December 11-24, 1983)

### 1. 北米——寒波

北米大陸中央の内陸部では、12月の初めから、12月としては最大級の寒波に襲われた。カナダから南方のグレートプレーンズの諸州に至るまで、 $0^{\circ}\text{C}$ 以下の気温にさらされた。12月19日には、ノースダコタ州のウィリストンとミネソタ州のインターナショナルフォールズで $-40^{\circ}\text{C}$ という記録的な低温となり、ミネソタ州のミネアポリスとロチェスターではそれぞれ $-34^{\circ}\text{C}$ 、 $-36^{\circ}\text{C}$ という12月の最低気温の新記録となった。さらに、12月24日には、モンタナ州のビュートとノースダコタ州のウィルソンでそれぞれ $-46^{\circ}\text{C}$ 、 $-44^{\circ}\text{C}$ を記録した。ノースダコタ州の大部分では、強風のため体感温度が $-72^{\circ}\text{C}$ 付近まで下がった。北極からの寒気は、週末に大西洋沿岸に向けて東方に広がっていき、さらに低温の記録を作るとともに農業にも危機をもたらした。クリスマスの朝には、ワシントン空港で $-16^{\circ}\text{C}$ という100年来の低温を記録し、サウスカロライナ州のコロンビアでは $-13^{\circ}\text{C}$ を記録した。テキサス・ルイジアナ・フロリダの各州では、寒波のために柑橘類と野菜がすっかりだめになり、テキサス州の被害は3000万ドル、フロリダ州の被害は6000万ドルと見積もられている。雪が頻繁に降ったため、交通は妨げられた。テキサス州のコーバスクリスチ ( $28^{\circ}\text{N}$  付近) ほどの南にまで雪が降った。五大湖周辺では、12月18日までにミシガン州のマーケット (地名) が  $0.9\text{m}$  の深い雪に覆われた。12月28日現在、寒波による死者は385人に達している。



### 2. 東ヨーロッパ——早ばつ軽減

前線が東進しながら通過したため、東ヨーロッパの大部分と中部ヨーロッパの一部に発生していた早ばつは軽減された。これらの地域では  $50\text{mm}$  を越える雨が広範囲に降った。しかし、水供給は多くの地域で平年以下の状態が続いている。

### 3. 南インド・スリランカ——大雨・洪水

インドの最南端では12月21~23日の大雨 ( $150\sim 266\text{mm}$ ) により洪水が発生し、タミルナドゥ州では少なくとも28人が死亡し、数千人が被災者となった。この雨のため、冬小麦生産のための貯水量は増加した。

スリランカでも大雨によって洪水が発生したが、稲作のための灌漑用水が補給された。

(注：上記各項目の番号は図中の番号に対応している)

(気象変動対策室 真野裕三)